

2023年7月24日

令和5年度第1回千葉県スポーツ推進審議会

# 運動部活動の地域移行等も含めた 運動部活動の充実と在り方の検討に関して

千葉県スポーツ推進審議会 委員

国際武道大学大学院 教授

笠原政志

# これまでに行政諸機関から発信された 学校運動・部活動支援の必要性について

体育の授業や運動部活動など，学校におけるスポーツ活動を安心して行うことができる環境を確保するため，地域の医療機関などの**専門家等との連携を推進**

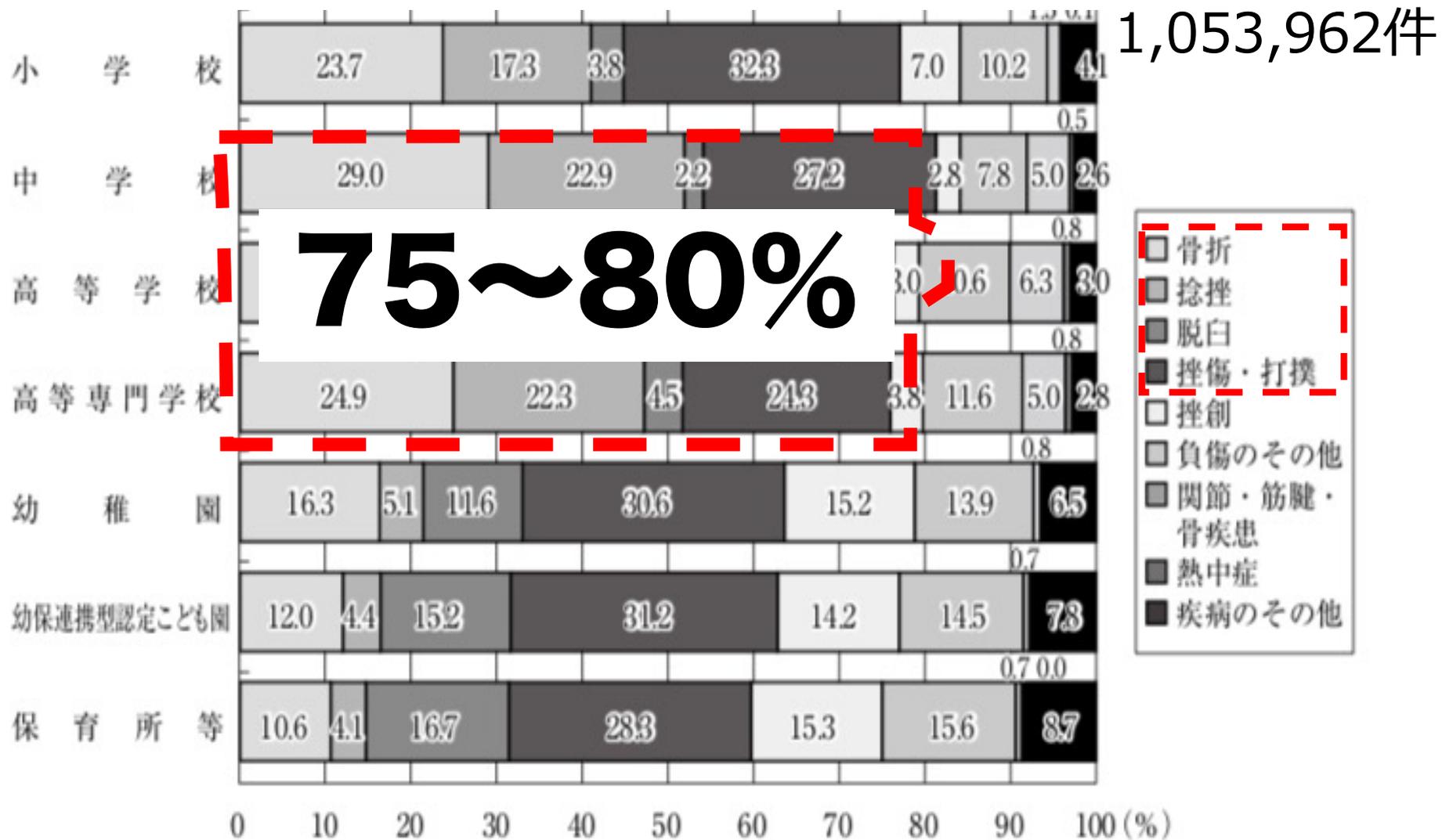
(文部科学省，2010)

指導や健康管理において**トレーナー等の協力**を得ることも有意義 (文部科学省，2013)

「チームとしての学校」が求められ，**専門家との連携や分担のできる体制整備**が重要  
(中央審議会，2015)

# 学校現場における負傷・疾病の実態

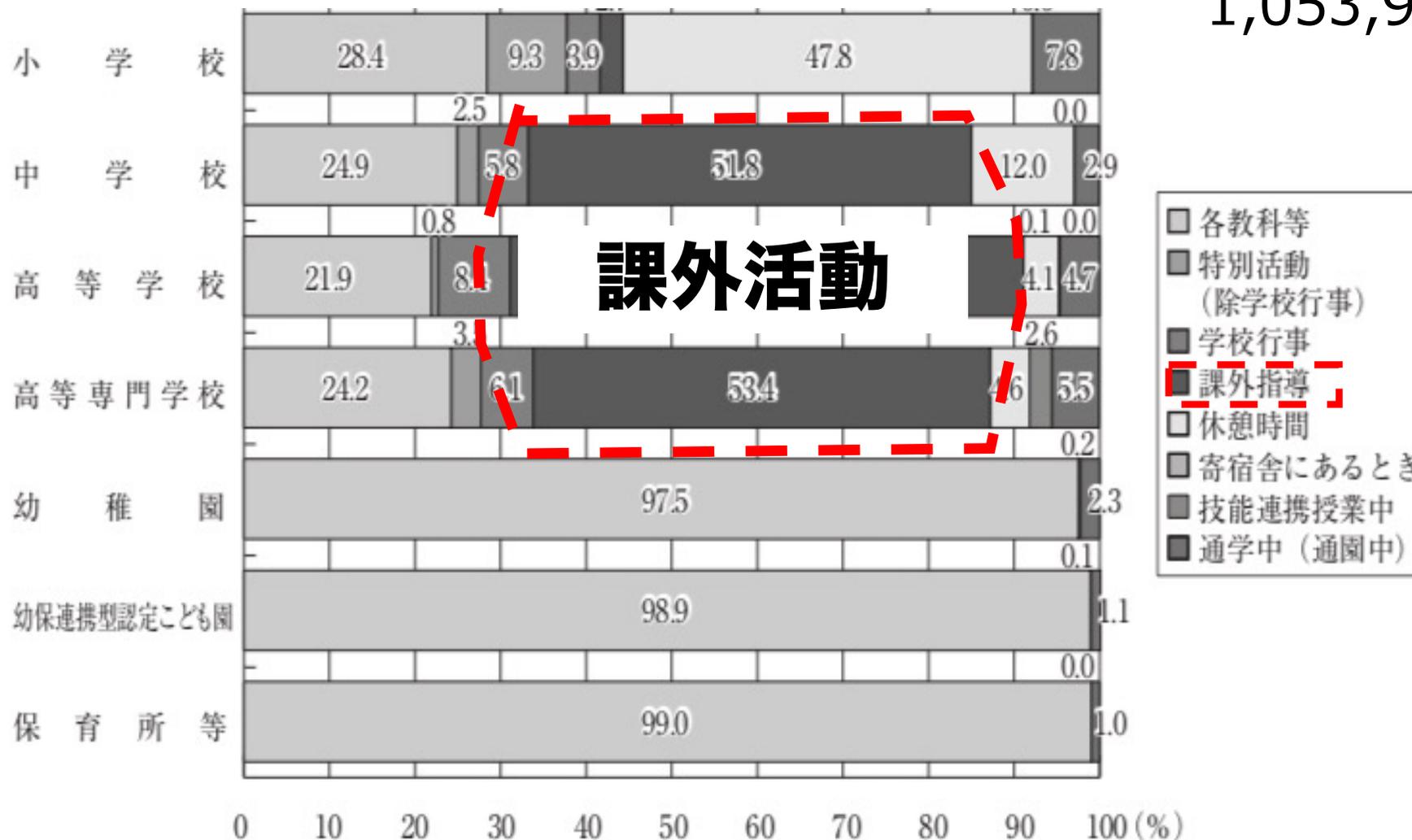
## 年代別各負傷・疾病の割合



# 学校現場における負傷・疾病の実態

## 年代別負傷・疾病時間帯

1,053,962件



# 高校運動部活動におけるスポーツトレーナー関与に関する現状

## 関与率

**32%～63%** (劔持ら2012、石郷岡ら2017、西山ら2021)

## 関与効果

「競技成績の向上」

「自己管理を行う生徒が増えた」 (石郷岡ら, 2017)

「怪我人の減少」 (石郷岡ら, 2017)

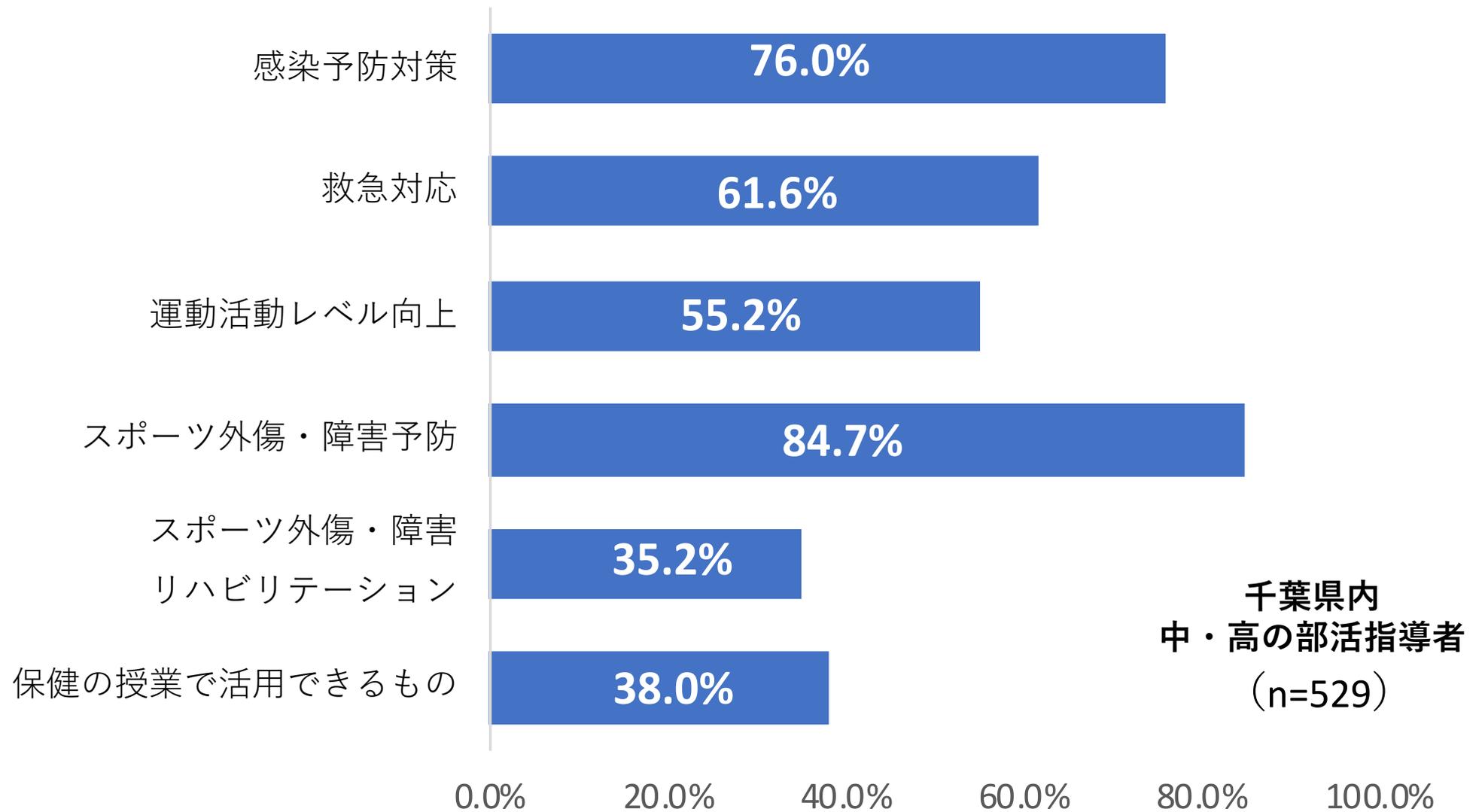
「体力づくり効果」 (並河ら, 2007)

## 必要性

**指導者の約70%～95%が必要と感じている。**

(福原ら, 2009；石郷岡ら, 2017；山田ら, 2008)

# 運動部活動の充実を図るためには どのような情報が必要ですか



(2020年学校・スポーツ再会に向けたガイドライン活用に関する実態調査より)

## 2. 合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進

ア 校長、部活動顧問、部活動指導員及び外部指導者は、学校部活動の実施に当たっては、生徒の**心身の健康管理（スポーツ障害・外傷の予防やバランスのとれた学校生活への配慮**等を含む）、事故防止（活動場所における施設・設備の点検や活動における安全対策等）及び体罰・ハラスメントを根絶する。

イ 運動部活動の部活動顧問、部活動指導員及び外部指導者は、**スポーツ医・科学の見地**からは、トレーニング効果を得るために休養を適切に取ることが必要であること、また、過度な練習がスポーツ障害・外傷のリスクを高め、必ずしも体力・運動能力の向上につながらないことを等を正しく理解し、分野の特性等を踏まえた効率的・効果的なトレーニングの積極的な導入等により、休養を適切に取りつつ、短時間で効果が得られるよう指導を行う。

**千葉県では「どこが」「誰が」それを担うかが記載されていない**

平成30年6月 安全で充実した運動部活動のためのガイドライン

令和5年3月 地域全体で子どもたちを育てる学校部活動及び地域クラブ活動の在り方に関するドライン

# 他の自治体の取り組み事例：愛知県の場合

## 「運動部活動指導の工夫・改善支援事業」

スポーツ指導理論等に基づいた効果的な指導方法を調査研究することを目的として、スポーツ医・科学的な知見を持った公認アスレティックトレーナーが外部指導者・部顧問と連携して活動

派遣校 2015年度高等学校28校（28運動部）

2016年度高等学校25校（28運動部）、中学校6校（7運動部）

指導内容 ウォームアップ、クールダウン、救急対応

姿勢の確認と改善方法、柔軟性の確認と改善方法

<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/294423.pdf>

2023年度から \* 報道発表資料より抜粋

## 地域スポーツの活性化に向けて総合型地域スポーツクラブの支援

スポーツ教室等の充実に取り組むクラブに対して、県内の競技団体の指導者や、スポーツ医科学人材（アスレティックトレーナーなど）を派遣

<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/453001.pdf>

# 他の自治体の取り組み事例：長野県の場合

## 「運動部活動支援事業：コンディショニングサポート派遣」

運動部活動に所属する生徒のスポーツ傷害の予防、コンディショニング、等について専門的な知見を有するアスレティックトレーナーを派遣し、発育発達期にある中学生のスポーツ活動をサポート

### アスレティックトレーナーとの連携による学校現場へのサポート

#### 定期的な訪問による具体的な関わり方



#### 保健室での活動！

定期的なスポーツ傷害相談会を開催し、悩みをもつ選手と保健室にて相談をさせていただきます。

- ・正しい応急処置の方法は？
- ・このけがは本当に通院が必要なのか？
- ・テーピングをどのようにしたら良いのか？

養護の先生方との連携！



#### 部活動現場での指導

体育館やグラウンドなどの活動先で、トレーナー活動を実施します。

- ・ウォーミングアップ指導
- ・けがの予防と疲労回復のためのストレッチング指導

部活動を指導する先生方との連携！

# 他の自治体の取り組み事例：茨城県の場合

## 「部活動の運営方針」

### 合理的かつ効率的・効果的な活動の推進のための取り組み

#### ア 部顧問対象研修の設定

- 教育委員会、学校及び各種団体等においては地域移行を視野に入れながら、特に競技・指導経験がない部顧問に対して、指導に必要な基礎的・基本的な知識の習得や、生徒に対応する部顧問としての資質の向上を期して、必要な研修の機会を設定する。さらに、専門的かつ高度な知識に基づく科学的なトレーニング理論や、できるだけ短時間に合理的でかつ効率的・効果的な活動の指導方法の習得をめざす部顧問に対して、研修の機会を設ける。
- 学校は、教育委員会や各種団体等が行う部顧問対象の研修、部活動指導員の募集・研修等に協力する。

#### イ リスクマネジメントのための専門的指導力を高める取組

- 運動部顧問は、科学的な見地に基づき最大のトレーニング効果を得るため、計画的に休養日を設定することが必要なこと、また過度の練習はスポーツ障害・外傷のリスクを高め、必ずしも体力・運動能力の向上につながらないこと等を正しく理解する。また、専門的知見を有する保健体育担当の教員や養護教諭、**学校医及びアスレティックトレーナーを含む有資格者等と連携・協力して**、発育・発達の個人差をはじめ、特に成長期における体と心の状態等に関する正しい知識を得た上で指導を行う。

# 他の自治体の取り組み事例：東京都の場合

東京都教育委員会  
Tokyo Metropolitan Board of Education

Tokyo 体育健康教育ポータル

文字サイズ ▼

サイト内検索



ホーム



個別最適な学び



スポーツライフ



健康的な  
生活スタイル



多様なニーズに応じた  
運動部活動



東京2020  
大会レガシー



事故防止  
体罰根絶

ホーム > 多様なニーズに応じた運動部活動 > Sport-Science Promotion Club

## Sport-Science Promotion Club



東京都教育委員会は、都立高校等の運動部活動における一層の競技力向上を図るため、「運動部活動の在り方に関する方針」に則り、科学的トレーニングの積極的な導入等により、短時間で効果が得られるような合理的でかつ効率的・効果的な活動を推進する「Sport-Science Promotion Club」を指定しています。

[https://www.taiiku-kenko-edu.metro.tokyo.lg.jp/club\\_activity/index.html](https://www.taiiku-kenko-edu.metro.tokyo.lg.jp/club_activity/index.html)



人材を探す イベントを見る ログイン 会員登録はこちら

### 地域のスポーツコーチング人材不足を解決する！

アテンドジャパンでは、  
スポーツ現場で選手を支援する  
指導者・コーチ・トレーナー等の活動人材が集まった  
スポーツコーチング人材バンクです。  
地域の企業や団体・チーム等との繋がりを支援しています。

登録人材  
100名を  
超えました！

人材登録料  
無料

スポーツコーチング人材バンク

アテンドジャパン

## 民間に委託

<https://at-japanet.jp/?fbclid=IwAR2SkfCNtAewbTOpchdA9Jhwyugpc9UW2mxYZ2TLMX1CyeK7Vlq4oHYIUcQ>



教育委員会  
など

スポーツ医科学の専門家（アスレティックトレーナーなど）

定期的  
(例：1回/週)

定期的  
(例：1回/週)

定期的  
(例：1回/週)

定期的  
(例：1回/週)

定期的  
(例：1回/週)

定期的  
(例：1回/週)



ケガ予防、ウォームアップ、クールダウン、安全管理など



## 教員のサポート・コンシェルジュのような存在

各自治体は「どこがそれを担当するのか」「誰がそれを担うのか」

を含めて示している

# 地域スポーツクラブ移行した場合における 指導者の質の担保はどこまでの範囲か

## 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革

▶部活動を学校主体から地域主体の取り組みにしていく。

(スポーツ庁, 2020)



スポーツ活動中におけるスポーツ外傷・障害の実態  
地域スポーツクラブ

学校のクラブ活動  
運動部活動

安全管理



養護教諭を主体として  
学校全体で対応

総合型  
スポーツクラブ

民間の  
スポーツクラブ

安全管理



指導者が対応？  
指導者以外が対応？